



(2) 財政基盤の安定

シルバー人材センターを運営していくうえで財政面の安定は最も重要な課題です。最少経費で最大の効果が得られるよう諸事業について見直すべきところは見直し、運営に専心しました。

(3) 会員の確保

入会説明会を開催するとともに、推進員による会員拡大や会員による声掛けにより、会員の確保を図りました。新規会員として6名の加入がありました。今年度末の会員数は164名です。

(4) 就業の開拓の推進

推進員による事業所や個人宅を訪問し、一人でも多くの会員にその希望と能力に応じた仕事ができるよう就業機会開拓の推進を図り



ました。

皆野町から指定管理者の指定を受けている「皆野町老人福祉センター」の管理運営や皆野町介護予防事業（ふれあい広場）の受託事業については、適正な運営を図りました。

(5) 会員の資質向上

会員の資質向上のための「シルバー就業者全体会議」において、外部講師を招き講話をいただきました。

(6) 普及啓発活動の推進

当センターの広報誌・ホームページ及びみんなの皆野ふれあいまつりにおいて、当センターのPR活動に努めました。

(7) 組織活動の強化

当センターにおいて、会員の組織の活性化は、適正かつ円滑な事業運営を行ううえで不可欠であり、各組織において随時諸事業を展開しました。

会員が、ボランティア活動等へ積極的に参加しました。なお、従来は参加してきた企業の森林づくり育樹活動ボランティアには、日程の都合で組織として参加できませんでした。

総務委員会	センターの普及啓発、各種調査と新規会員の勧誘活動、会員の配分金及び事務費等の検討
安全委員会	会員の就業と安全確保及び事故の防止等
広報委員会	広報誌の編集・作成
農業部会	遊休農地の活用、農地等の維持管理の受託
ふれあい事業部会	ふれあい広場事業の実施
ひまわり福祉部会	ボランティア活動（歌謡健康教室における健康体操）
職群班	職種ごとに必要に応じて職群班の編成及び就業先のリーダー選任
地区委員	地域会員とセンター事務所のパイプ役

日程	内容	場所	人員
11月2日～3日	みんなの皆野ふれあいまつり (準備～本祭)	おまつり広場（役場前）	延べ 41名
12月20日	長生荘ボランティア清掃 ※健康講話を実施	老人福祉センター長生荘	48名